



こんにちは

白子の議会

です

第101号

平成23年8月1日

編集発行

白子町議会

☎0475(33)2169



中里海岸

第2回定例会

平成23年第2回定例会が6月8日に開催されました。
一般質問は、5名の議員が町政を質しました。

- 一般質問2~6ページ
- 平成23年度一般会計補正予算について質疑応答.....7ページ
- こんなことが決まりました.....8ページ

一般質問

町政をきく

今回の一般質問は5名が登壇し、防災対策、観光、自治振興等について質しました。

東日本大震災について

大多和正之議員

議員 今回の東日本大震災で白子町の危機管理マニュアルが機能したか伺います。

次に宿泊客のキャンセルが相次ぎ三、四月のホテル、小売業の売り上げが激減し、農作物、海産物の値段も風評被害で大分安くなったが、それらの産業に町として補助する考えがあるか伺います。また小学校、中学校の耐震化は順調に進んでいるが保育園、旧旭橋の耐震化はどうか伺います。

防災体制は十分ではなかった

町長 町防災体制は十分ではなかった、町として多くの課題を認識いたしました。幾つかの反省を踏まえて、防災体制の確立を図ってまいります。

次に産業被害の支援は一番は観光客の激減でホ

地域活性化について

テル、民宿に加えて周辺町内の関連産業すべて打撃を受けておりますので町全体を考え支援していきたいと思っております。また、保育園の耐震化ですけど、学校関係があと一年で終わりますので、その後耐震診断し作業はその後に考えたいと思っております。

議員 B級グルメを地域活性化に生かす考えはあるか伺います。

次に地域活性化を考えた中でホームページの活用は必要最低限だと思いますが、町のホームページを見て、町長の感想をお伺いします。



まずは地元から

町長 B級グルメは私も興味をもっておりますが、いきなり全国というよりもまずは地元からと思っております。長生地域観光連盟の会長に提案しているところで、早い時期に実現できればと思っております。

次にホームページの感想は前よりは良くなった感じでありますが、皆さんがよく見てくれるホームページにしていきたいと思っております。



白子青空祭り

公共料金

について

議員 税金等の公共料金で現在は銀行の引き落とし、窓口による納付だけだが、近年は他の自治体では、コンビニ払い、クレジット払いが復旧しているのでも考えてみてはどうか伺います。

次に道路専用料金の価格改定、または規定を細分化見直しする考えを伺います。

都市一本化で

町長 税金等をコンビニ払いですが、町も検討しメリット、デメリットがありますので、費用対効果を考え検討し、できれば都市一本化でやっていきたいと考えております。次に道路専用料金の価格改定は回りの状況を見ながら判断したいと思っております。また段階を分散化する事も検討します。



リゾートマンション

防災と福祉のまちづくりを

市川隆子議員

高齢者、障害者への対応は

議員 自分で身を守るこ
とが困難な高齢者や障害
のある方の避難について
は、誰が何を把握して、
どのように対応するの
のシステムづくりが必要
だと思いますが、考えを
伺います。

大きな課題

町長 高齢化時代に入り
対象者が多く大きな課題
です。自力で避難できな
い人に対しては、消防団
が自治会長、民生委員の
皆さんと協力して、高
齢者のお宅を一軒ずつ回り、
災害支援リストをつくり、
毎年更新していきます。

災害時の医療体制と 長生病院の耐震性は

議員 大きな災害等で、
けが人や病人が出た場合
は、長生病院が二次救急
としての役割を果たさな
ければならないと思いま
すが、医療体制の確保は
どのように対応するの
か
また、長生病院に被害
が出ては診療や入院の受
け入れが難しくなってい
まいますので、長生病院
三棟についての耐震度を
伺います。

地域全体で考えな ければならない課題

町長 長生郡市の医師会
と災害時医療活動に関す
る協定、千葉県広域消防
総合応援協定を結んであ
りますが、被災県の状況
を見ますと、それすら機
能しなかつたことも聞い
ていますので、町だけで
なく、地域全体で考えて
いかなければならない課
題だと認識しています。
長生病院の耐震は、A
棟は建て直しが必要、B
棟は補強が必要、C棟は
現状で大丈夫です。



長生病院

波のり道路 アンダーパス対策 南白亀川堤防改修は

議員 津波等の災害時に
波のり道路のアンダーパ
ス対策はどのようにする
のか。とりわけ南白亀川
河口の両側への対策が求
められますが考えを伺い
ます。

また、護岸整備につ
いては、県も予算を組んで
あるようなので、大きな
災害が起きる前に整備を
要望すべきだと思います
が見解を伺います。

機関と相談 堤防改修を要請する

町長 アンダーパスは、
地元の理解が得られれば
砂丘をつなげるのも一つ
の方法だと思います。南
白亀川の両側については、
専門機関、県等と十分に
相談して詰めていきたい
と思っています。
堤防は、修理ヶ所も多
くありますので、要請は
していますが、今後も強
力に要請していきます。

納税相談窓口 現状でプライバ シー守れるのか

議員 町は国保税の差し
押さえ件数が郡内でも多
いほうだと思います。国
から言いなりの収納対策
の強化ではなく、生活実
態をよく聞いて住民の立
場に立った納税方法をと
るべきではないかと思
いますが、町の対応を伺
います。

また、相談は役場一階
の窓口前で行われており
プライバシーが守られな
いのではないかと思いま
すが、最善策を求めます。

改善する

町長 よく話し合いをし、
相談を受けて対応してい
ます。
プライバシーの問題は
別の部屋を借りての相談
などの方法に改善してい
きます。



白子町の防災対策について

宗島慶明議員

議員 三月十一日東日本大震災が発生しました。幸い我が町は大きな被害がありませんでしたが、我々が今まで想定していた以上の地震、津波の発生する可能性は今すぐにもあります。町長は今後の防災対策についてどの様に考えているか伺います。



防災計画の見直しを検討する

町長 今回の震災で町としての反省をすることは多くありました。同時に町民の皆さんの意見もたくさん寄せられましたので、それらを踏まえて、今発生した場合と長期的な計画、国、県とのすり合わせも必要ですが、防災計画の当面と、長期的な見直しも進めているところです。

防災無線と広報無線の使い分けは

議員 今回の大震災を受け、防災無線の果たす役割がいかに重要か、被災地すべてで認識されました。我が町の防災無線は震災発生当日の対応は、決して評価されるものではないが、今後どのように見直していくのか伺います。



防災無線は

サイレンで

町長 まず住民の皆さんに周知させるための広報無線、災害時はサイレン一般放送はチャイムといえます。また、マニュアル化を進めています。反省点もありましたので、職員の訓練をしていくかと考えております。

避難場所の見直しは検討しているか

議員 我が町は平坦で高台もなく、今回の大津波の規模を考えた時、避難場所は大変難しいと思われる。避難場所の見直しは当然行っていると思いますが、今現在考えている場所を伺います。

津波・台風と高潮に分けて避難場所の使い分け

町長 津波発生時の一時避難場所としてホテル組合と提携しています。今後はプレート看板等をつける事になっていきます。またリゾートマンションとの協定を進めています。台風、高潮の時は白濁ふれあいセンターを主に必要であれば南白亀、関を状況判断で開設します。津波の場合は三小学校と中学校が避難場所となっております。



震災発生時の自治区、消防団、町職員の役割の明確化は

議員 大震災の発生時、各市町村の対応や日ごろからの対策によって被害犠牲者の数に大きな差が出たのは明白であり、いかに町職員の役割、各自治会の役割、そして自治消防団の存在が大切か改めて認識された。その役割の明確化はどうするか伺います。

共助、公助、自助のあり方を議論したい

町長 役割の明確化については三月の時点では戸惑いがあった事は事実で、自治会の防災機能は再考の余地があり、防災組織をつくってもらうことを働きかけたい。消防団は特に高令者、弱者について一翼を担ってもらうことをお願いしている。出勤に命令は出来ませんが強制は出来ないのと一緒に考えていきたい。町職員については一人一人の役割分担を決めました。その上に意識の高揚も図ります。

災害発生時の生活用品、備品の備蓄計画は

議員 災害発生時にすぐ必要となるのが食料を始めとする生活用品である。備蓄の準備は今すぐにも行っておくのは当然だと思えますが現在用意されているもの、今後の計画を伺います。

状況を見ながら必要な物を備える

町長 今の時点で毛布や口ウソク等は追加しましたが、今まで食料としての備蓄はないので、まずアルファ米千五百食、それから発電機は現在五台ありますが倍増させて補充します。その他いろいろ必要に応じて備品は備えて行きたいと思えます。今回の教訓を今後の防災対策に取り組んでまいりたいと思えます。



自治振興について

北田頼光議員

自治会からの 要望の対応は

議員 町行政はひまわりメールの通信などを中心に、自治会とのパイプ関係が繋がりに地域全体への行政機能が行き渡っている構図に、その相互関係は迅速かつ信頼で結ばれ伝達・連絡がスムーズに末端まで統一されていると思われます。その反面毎年各部署への要望書や陳情などの依頼に遅れが生じ、未解決の回答や住民からの苦情には考慮する事もあると思いますが、絆を損ねてはならず適正な処置のもとで限りなく近い早期の解決策を臨むものです。考えを伺いま

連携を十分に

図り改善を

町長 行政と自治会の連

携については自治会長設置規則があり、町は町民に対する町政の伝達の決定及び町政への町民の意見を図り、民主的かつ効果的な行政の執行を確保するため、自治区ごとに自治会長及び副自治会長を置くこと規定されています。

自治会長は自治区の代表として行政とのパイプ役を果たして頂き、町政の課題を自治会のみならず周知していただきたい。また昨年度からひまわりリベロという制度を作り職員課長職に各自治会長さん方に随時会って話しをし、情報や要望を聞いたり、時の状況を伝えていきます。今後とも行政と自治会が一体となつて十分な連携を取り合い、改善すべきは対処していきます。



地区割り自治会 会合奨励について

議員 十年くらい前から発足し関北地区からなる四自治区による、連合自治役員会が毎年、地区集会場ごとに行われている。地域の情報交換や近隣の融和を目標としているが相互の意見や協力体制と住民パワーが融合し、高い成果を確実に上げてきている。

町としてこのシステムを考え、連合自治会と行政企画事業（出前講座）等の会合での催しなどの奨励と啓蒙の考えはないか伺います。

前向きな考えで

町長 どういう時代でもそういう絆は大切だと思えます。地域を大事に考えることは、私も同感です。関北地区の事例を上げ奨励、啓蒙は情報の一つとして行っていきます。その際、ひまわりリベロの活用をして頂ければと

思います。また出前講座も実績の回数が増え、浸透してきており内容も防災の問題やゴミ問題などテーマが話題になっていきます。これらを含め、周知を前向きに図ってまいります。

農地・水 保全事業について

議員 国の補助金制度を利用してスタートした、農地・水・保全事業ですが、自治会を中心に各自が一体となり、目的を持つて一定の方向を目指す姿勢がいい。

自治会内の統一と絆が計られ、今後も継続が期待されメリットを生かしたいが見通しを伺いたい。

今後の検討 課題として

町長 たしかに五年前からこの農地・水・環境保全向上対策事業は、用水や排水をみんなですべていこうという趣旨でスタートしたもので、今年で

最終年度です。事業はなくなるようですが、それに近い事業が継続されると思います。この企画は他の市町村も農政の中で地域から喜ばれている事業です。要望としては継続の方向で常に押していきますが、場合によっては県と町だけでも、実施したい方向で考えており、効果的なメリットを考慮し検討していきたいと思いま



農地・水・環境保全向上対策事業

安全・安心の避難方法は

三橋吉辰議員

稲むら火の教訓から

議員 津波ハザードマップの作成と見直にあたって、町民一万二千人以上の皆さんが短時間で町内から避難できる道路の確保について伺います。



県と一緒に直していく

町長 現在のハザードマップは、元禄、延宝の地震をシュミレーションして作られています。波乗り道路、或いは海岸の砂丘の形態、海岸保安林など形態が変わっていますので、県と一緒に直していくつもりです。避難道路の確保として、電柱の倒壊防止については、町としてはいかんともし難い問題です。東電、あるいはN.T.T.、そのほかの携帯電話の会社が倒壊防止の考慮をしているかと思っております。

橋の安全性は

議員 M9、津波が発生したことを想定したとき、町内の多くは、陸の孤島化し、脱出する時は、橋を渡らなければならぬ。橋が橋の安全性を伺います。

順次修理する

町長 橋の安全性を調査しながら、必要なところは改修をしていくという方向性は出ております。町道に架かる橋九十三ヶ所、県道に架かる橋二十五ヶ所、計百十八ヶ所、点検調査し長寿命化修繕計画にもとづいて順次修理していきます。

町外避難への対応

議員 避難場所の指定について、町外に脱出することを前提とする。茂原、土気、大網白里町各市町に脱出しなければ白子町の人命を守ることは出来ない。町外に出たときの

対応について伺います。
町内避難場所を
模索中

町長 町外避難所の移動には少々困難があります。町内の高い所に避難所の選定をしている所です。ご理解いただきたい。

避難の支援

議員 自力で避難できない人の支援をどのようにするか伺います。

近所の方とコミュニケーションを

町長 支援の難しさがあります。結局は、第三者や、家族がいれば一番ですが、隣近所、消防団や人々の手を借りる等、助け合うことも大事だと思います。

避難誘導の対応は

議員 三保育所に駆け付けたとき、一所長はまず男手がなくて非常に不安でした。という話を聞いて、男性職員、或は男性保育士の配置、園児の避難誘導について伺います。

避難訓練回数で安全を確保へ

町長 南白亀保育所については、徒歩で南白亀小学校まで行くと、小さい子供も含めて十分程度で避難できることを何回も訓練しているようです。で学校のほうが安全だと思っております。

白湯保育所については小学校に避難することになつていきます。子供の足ですと約二十分程度の距離になりますので、モリカワ製作所の協力により避難させます。

関保育所については、海岸から離れています。鉄筋づくりの保育所なので、安全な場所だと思えます。男性の保育士三名を将来的に優秀な人であれば確保していきたい。

要望 被害を最小限に

議員 今、対応のし難い話をしてきました。電柱倒伏防止や橋の安全、一万人以上の町民が短時間で脱出出来るような対策をしていただけることを要望します。



関保育所



白湯保育所



南白亀保育所

平成23年度一般会計補正 予算について質疑応答

【河野 豊議員】

災害被災地 支援事業について

議員 役場の職員を被災地に派遣しているとの事、宮城県の山元町に行き何をして来るのか内容の説明を求めます。

町長 復興ボランティアということと、壊れた家の片付け、修繕できる建物や住宅の床の泥片付けなどが主な作業です。事務作業などの要請もありますが、短期間では事務作業の手伝いは難しい所があり、また町では人員削減などしており事務作業での派遣は難しい面もあります。

議員 内容を聞くと、壊れた家の後片付け、泥片付けなどが主で、日本中から被災地へ、ボランティアが応援に駆け付けています。一般のボランティアは自費で行っている公費を付けてまでする事業とは思いませんが答弁をお願いします。

町長 被災の現場を自分の目で見る事が大事だと思います。これは職員

意志として、自主的に参加をしていただいた事で、強制ではありません。



ガレキ等の撤去作業をする派遣職員

【鈴木正美議員】

今後のエネルギー問題

議員 発電機十五台を手当てしてありますが、緊急避難的、あるいは災害のときに、当然必要と思います。原子力の放射能の問題、電力の不足が、今後何年続くか大問題です。これからは、国、県

市町村も含めて、エネルギー問題が国策として大

きなテーマだと思えます。町長の考えを伺います。

自前のエネルギー

町長 エネルギーが足りない。今までは使うだけ使って電力不足になると東電が矢面に立たされ、自分たちも電気を使って相当恩恵を受けていたのに、東電ばかり責めるわけにもいかない、自前のエネルギーを考えるべきだと思います。

【北田頼光議員】

被災地支援の教訓は どのように生かすのか

議員 防災訓練やマップの作成には行政サイドだけでなく各方面から、多角的、重層的に意見の集約が望ましいと思うが、被災地支援を行った教訓をどのように生かして行くのか。

貴重な経験を大切に

副町長 宮城県山元町への人道支援です。役場職員五十二人で七

週間を技術と労働力の援助を目的としましたが、現場の労力は大変なもので想定以上の災害にとまどうばかりであり、貴重な体験となりました。被災地の地形がわが町とよく似ており、海岸より四百m位の所には七m位の防潮堤があり決壊したが、白子町における波乗り道路との接点もあり、目で見、耳で聞いた事など今後貴重な参考になると思います。

【板倉正道議員】

災害時の備蓄について 適正な範囲か？

議員 総務常任委員会では五年間でアルファ米千五百食、飲料水五百ミリボトルで千五百本との説明です。しかもマックスで千五百食、災害は分割で襲来しません、一度にそろえるべきだと思いますが、考えをうかがいます。
町長 当初五年がかりで千五百食の予定でしたが一度に揃えるよう要請がありましたので、当初から備蓄致します。

こんなことが、決まりました。 定例会 第2回 議案の内容

請願書

義務教育国庫負担制度の堅持に関する意見書採択に関する請願（採択）

国における平成二十四年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願書（採択）

発議案

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書（採択）

国における平成二十四年度教育予算拡充に関する意見書（採択）

永年在職議員表彰

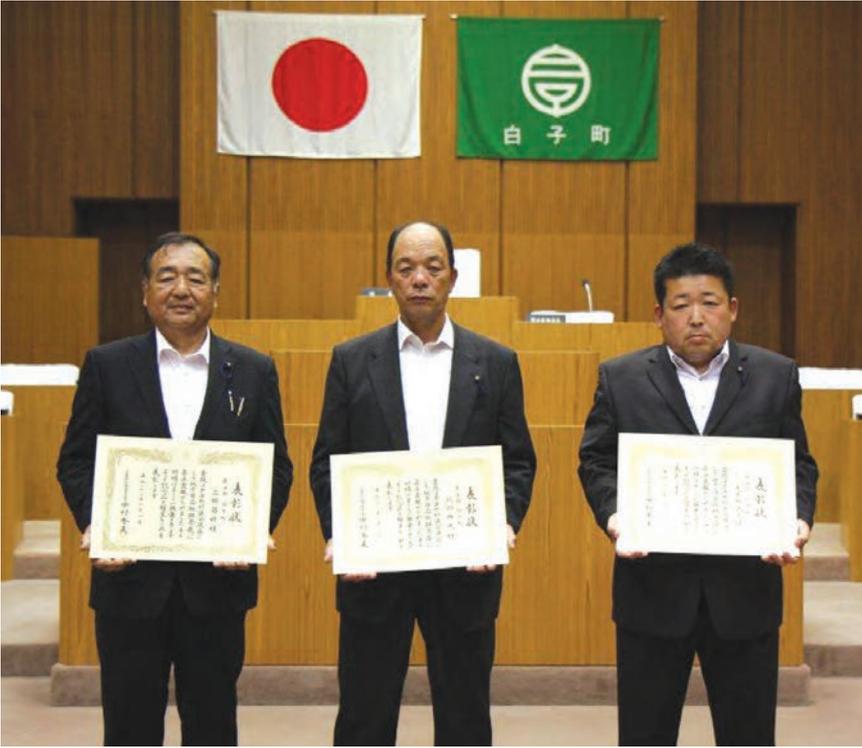
平成二十三年議員に対し表彰状の伝達が行われました。この表彰は、千葉県町村議会議長会より永年に亘り地域振興と地方自治の進展に尽くされた功績により表彰されるものです。本町から三名の議員が表彰されました。

心からお祝い申し上げます。

自治功労者

（議員在職十一年以上）

北田 大和 議員
橋本 昌好 議員
三好 光之 議員



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は9月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2169/FAX33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集コラム

残暑お見舞い申し上げます。

議会だよりも区切りの百回目を過ぎ肅々と新たなスタートです。

昨年の猛暑を忘れたかのように今年も厳しい夏がやってきた。その間、東日本大震災に遭遇、政局の争いなど相俟って世相の低迷、以前はさほど気にもしなかった大気汚染や食品汚染の隠蔽、また熱中症対策など、それぞれ過敏になってきているのでは。

一方で、なでしこジャパンの快挙が素晴らしい。久しぶりの感動と感激だ。団体初の国民栄誉賞が与えられ、各地から賛美が続く。しかし、頂点を極めた道のりは決して穏やかではなかったと聞く。速度標語に「ラルゴ」という言葉がある「ゆっくり、かつ豊かに」と。ふたたび感動を期待し、地道に応援したいものだ。

北田 頼光